

平成 21 年度分析分科会第 1 回運営委員会 議事録(案)

平成 21 年 4 月 14 日 14:00～17:00

東京八重洲ホール 411 会議室

出席者（順不同・敬称略）

小畑（和歌山県）、小池（長野県）、村岡（岡山県）、早川・尾形（山梨県）、奥野（埼玉県）、大橋（名古屋市）、上本（東京都）

小島・永井・前田・衣笠・福本・一石（産総研）

議事：

1. 委員自己紹介、名簿確認

新規：早川氏・尾形氏（山梨・次期会長県）、村岡氏（岡山・次年度開催県）、小池氏のメールアドレス訂正

2. 年間スケジュール確認

資料に添って確認。

年会は 12/3,4（昨年より一週間遅い週）

3. 会計報告、予算案

資料により報告。

年会の際に分科会長、次年度分科会長および次年度開催県には産総研から旅費を支給できる。

4. 年会について

12/2 16:00～ 第 3 回運営委員会

12/3 年会 1 日目 @アバローム紀の国、機材借上以外は手配済。

特別講演(1 日目)産学官連携事業について（財団研究統括・谷口氏）

12/4 年会 2 日目 講演会（@工技セ）、見学会

講演会内容は運営委員長に一任。

Q：4 日の講演会の趣旨は？→A：年会の一部という位置付けだが、特にテーマは決めない。年会 1 日目の分析技術討論会より 1 講演あたり時間を長く取って、まとまった内容の話をしてもらいたい。上本氏には「分析の信頼性」についてお願いしたい。関東地域イノベの報告も考えている。分析技術討論会のプログラムと同時期にプログラムを確定する。

見学は花王を予定、15:30 和歌山駅着。15:48 発の「くろしお」に間に合う様アレンジする。

時間があれば一般見学コースの他に専門的な説明が聴ける様にする。

会場へのアクセス

・アバローム紀の国

J R 和歌山駅または南海和歌山市駅から車 10 分程度、バスは頻繁に出ている。新大阪発の特急は大阪駅を通らないので注意。関空からはバス有り、伊丹からは関空でバスを乗り継ぐか大阪駅または南海難波から鉄道利用。

- ・工技センター

駅周辺でのピックアップは難しいのでアバロームのロビーに集合し、バス待機場所まで案内する。講演会のみで見学に参加しない人は、路線バスまたは JR で帰って頂く。

- ・参加費は徴収しない。交流会は 6000 円で検討。
- ・昼食は両日とも各 1000 円。3 日は飲物無（急須のお茶を用意）、4 日は飲物付
- ・2 日間とも「分析分科会年会」とする。事務局で開催案内の文案作成する。

5. 共同研究

- ・無機：共同分析試料の性状は粉末で、粒径は max100 μ m、ピークは 30 μ m 程度。S は主としてスルホン基、Cu はフタロシアニンに含まれているが化学量論的ではない。Fe は不純物と考えられるが起源は不明。測定元素は Cu Fe S の 3 種。NaCl が主成分という事は実施要領に明示しない。JIS K 0102 を参考に、という記述はカットする。実施要領は例年の体裁にならない事務局で原案作成。メールで運営委員に配信して意見を求め、修正して確定する。

- ・材料評価分析：粉末 X 線は行わない。GaAs/AlAs 超格子(膜厚 10 μ m 程度)を予定。(XPS/AES デプス分析)

- ・報告書様式(ワークシート)：大橋氏が再度検討してメールで連絡し、福本氏が修正する。

- ・Z スコア：例年通り「四分位数」を用いて算出する。(裁量が入らないのが利点)

C：そろそろ総括して他の方法とのメリットデメリットを明らかにするのがよいのではないか。

6. タイムスケジュール

21 年度は部会総会及び計測分科会は富山県開催。総会での活動報告は産総研で対応するので、会長機関の出席は不要。22 年度は岡山県で総会と分析分科会を開催。共同分析試料については岡山県が担当。